平成２５年度
松山空港航空機火災対応訓練実施計画

実施日時　平成 26 年 3 月 7 日（金）22:00～23:30

実施場所　松山空港

松山市南吉田町

平成25年度松山空港航空機火災対応訓練（実機）

訓練計画

1. 目的

松山空港を管轄内に有する西消防署の航空機火災に対する部隊活動能力の向上及び国土交通省大阪航空局松山空港事務所との連携強化を目的とする。

2. 主催

松山空港消火救護活動協議会

3. 訓練日時

平成26年3月7日（金）22時00分～23時30分　※雨天決行（予備日なし）

4. 訓練場所

松山空港　松山市南吉田町

5. 参加機関

国土交通省　大阪航空局松山空港事務所
日本航空株式会社
愛媛綜合警備保障
一般財団法人航空保安協会松山第一事務所
松山市西消防署

6. 訓練想定

平成26年3月7日（金）22時00分頃、乗客165名の日本航空ボーイング737－800が着陸直後、滑走路中央付近で機内より出火した。松山空港保安専門官が指揮する空港消防が活動する中、西消防署の活動隊は⑩番ゲートから進入し空港関係者から情報収集し消火救助活動を展開する。
また、大量放水が必要とされ、西消防署特殊消火隊が運行する海水利用型消防水利システムが現場西700mの海からホース延長を行い火点直近に水利を確保する。

7. 訓練内容

松山空港滑走路中央付近で炎上している航空機を、空港消防と連携して消火活動、並びに航空機内逃げ遅れ者の救出活動を実施する。また、海水利用型消防水利システムを活用し、大量放水に対する水利を確保する。

8. 講　評

講評　国土交通省大阪航空局松山空港長　渡邊　秀夫

講評　松山市西消防署長　井手　清史

以　上